



平成29年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年6月29日

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社
コード番号 2484 URL <http://www.yumenomachi.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 利江

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部管掌 (氏名) 三尾谷 淳

TEL 03-6777-0870

四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第3四半期の連結業績(平成28年9月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第3四半期	3,810	25.1	631	50.0	626	46.6	376	10.5
28年8月期第3四半期	3,045	11.4	420	1.8	426	4.8	341	115.4

(注) 包括利益 29年8月期第3四半期 385百万円 (13.1%) 28年8月期第3四半期 341百万円 (69.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第3四半期	9.34	8.99
28年8月期第3四半期	8.47	8.21

(注) 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年8月期第3四半期	3,923	2,627	66.5	64.53
28年8月期	4,066	2,341	57.0	57.42

(参考) 自己資本 29年8月期第3四半期 2,610百万円 28年8月期 2,317百万円

(注) 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期		0.00		10.00	10.00
29年8月期		0.00			
29年8月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	20.3	800	39.7	800	38.2	450	29.4	11.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年8月期3Q	44,390,400 株	28年8月期	44,390,400 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

29年8月期3Q	3,936,000 株	28年8月期	4,040,800 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

29年8月期3Q	40,345,552 株	28年8月期3Q	40,283,200 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年9月1日から平成29年5月31日）につきまして、当社グループは、基本方針である「出前館事業の持続的成長」と「通信販売事業の再成長」に向けて、様々な施策に取り組んでまいりました。

「出前館事業の持続的成長」に向けて、3月より、地域密着型デリバリー店舗の拡大のため、昨年12月15日付で業務提携契約を締結した株式会社朝日新聞社の取引先である新聞販売店「ASA」との協業1号店が相模原（神奈川県相模原市）でオープンしました。また5月には協業2号店が町田（東京都町田市）でオープンしました。本エリアでは、ローストビーフ丼やすた丼を始めとする人気の丼物や、カレー、中華、洋食、弁当といった豊富なジャンルとなっており、売上も順調に伸びてきております。

また、継続的な取り組みであるネット決済可能な店舗数の拡大による利便性向上については、5月末時点で8,000店舗まで拡大し、全加盟店数に占める割合は53.5%となり、1店舗あたりの利用率も上昇しております。

「通信販売事業の再成長」に向けて、当期において重点的に取り組んでいる業務効率化の一環として、オリジナルな設備機器の導入を行い、発送業務の効率アップを行い、コスト削減効果が始まりました。また、LINEを活用したBot受注も開始し、従来の電話受注よりも、飲食店側および弊社側双方にメリットのある仕組みを構築しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,810,646千円（前年同四半期比25.1%増）、経常利益は626,005千円（前年同四半期比46.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は376,903千円（前年同四半期比10.5%増）となりました。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年5月31日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
基本運営費	222,075	7.3	249,570	6.5	27,495	12.4
オーダー手数料	1,138,842	37.4	1,414,499	37.1	275,657	24.2
広告収入	48,366	1.6	27,626	0.7	△20,740	△42.9
システム受託開発	40,438	1.3	29,088	0.8	△11,349	△28.1
その他	316,659	10.4	981,632	25.8	664,973	210.0
小計	1,766,382	58.0	2,702,418	70.9	936,036	53.0
通信販売事業	1,279,245	42.0	1,108,227	29.1	△171,018	△13.4
合計	3,045,627	100.0	3,810,646	100.0	765,018	25.1

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第3四半期連結会計期間末におけるアクティブ会員数は約183万人、加盟店舗数は14,953店舗、オーダー数に関しましては約1,258万件となっております。その結果、当第3四半期連結累計期間の出前館事業セグメントにおける売上内訳は、基本運営費249,570千円、オーダー手数料1,414,499千円、広告収入27,626千円、システム受託開発29,088千円、その他981,632千円、セグメント売上高は2,702,418千円（前年同四半期比53.0%増）となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、機動的なコールセンターを運営し、高品質な焼酎を中心に、飲食店向けの通信販売を行っております。当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は、1,108,227千円（前年同四半期比13.4%減）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で434,927千円増加し、3,012,605千円となりました。増加の主な要因は、現金及び預金が325,394千円、受取手形及び売掛金が36,849千円、未収入金が89,520千円等増加したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で577,410千円減少し、911,058千円となりました。減少の主な要因は、ソフトウェアが16,123千円増加した一方、ソフトウェア仮勘定が45,560千円、のれんが512,816千円減少したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で142,482千円減少し、3,923,663千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で62,168千円減少し、1,269,863千円となりました。減少の主な要因は、未払金が149,784千円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が106,596千円、未払法人税等70,233千円が減少したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で366,046千円減少し、26,184千円となりました。減少の主な要因は、長期借入金が332,422千円減少したことによるものです。

純資産残高は、前連結会計年度末比で285,731千円増加し、2,627,616千円となりました。増加の主な要因は、剰余金の配当100,874千円及び自己株式の取得28,941千円を計上した一方、資本剰余金の増加17,167千円、親会社株主に帰属する四半期純利益を376,903千円、自己株式の処分を19,426千円計上したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月期の連結業績予想につきましては、平成29年3月30日の「平成29年8月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,719,798	2,045,192
受取手形及び売掛金	323,923	360,773
商品及び製品	60,776	58,919
未収入金	405,546	495,067
繰延税金資産	21,475	21,475
その他	57,178	37,739
貸倒引当金	△11,021	△6,562
流動資産合計	2,577,677	3,012,605
固定資産		
有形固定資産	108,678	78,086
無形固定資産		
ソフトウェア	393,842	409,966
ソフトウェア仮勘定	90,310	44,750
のれん	607,180	94,364
その他	444	138
無形固定資産合計	1,091,778	549,219
投資その他の資産		
投資有価証券	137,931	160,433
差入保証金	74,907	62,229
繰延税金資産	40,810	36,442
その他	35,766	26,238
貸倒引当金	△1,403	△1,590
投資その他の資産合計	288,011	283,752
固定資産合計	1,488,468	911,058
資産合計	4,066,146	3,923,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	139,467	106,037
1年内返済予定の長期借入金	207,260	100,664
未払金	716,646	866,430
未払法人税等	147,516	77,283
賞与引当金	12,292	14,466
その他	108,848	104,981
流動負債合計	1,332,031	1,269,863
固定負債		
長期借入金	341,066	8,644
その他	51,164	17,540
固定負債合計	392,230	26,184
負債合計	1,724,261	1,296,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,113,300	1,113,300
資本剰余金	614,580	631,747
利益剰余金	1,056,672	1,332,702
自己株式	△463,648	△473,163
株主資本合計	2,320,905	2,604,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,780	4,238
為替換算調整勘定	2,914	1,630
その他の包括利益累計額合計	△3,866	5,868
新株予約権	16,774	10,108
非支配株主持分	8,071	7,051
純資産合計	2,341,884	2,627,616
負債純資産合計	4,066,146	3,923,663

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
売上高	3,045,627	3,810,646
売上原価	1,106,014	1,316,319
売上総利益	1,939,613	2,494,326
販売費及び一般管理費	1,518,721	1,863,085
営業利益	420,891	631,241
営業外収益		
受取利息	1,277	765
受取配当金	1,430	1,221
持分法による投資利益	3,585	8,620
助成金収入	4,802	2,500
その他	1,777	3,763
営業外収益合計	12,873	16,870
営業外費用		
支払利息	2,431	18,489
その他	4,367	3,617
営業外費用合計	6,798	22,106
経常利益	426,965	626,005
特別利益		
関係会社株式売却益	—	5,854
投資有価証券売却益	91,429	—
新株予約権戻入益	800	—
特別利益合計	92,229	5,854
特別損失		
固定資産売却損	—	520
固定資産除却損	—	23,579
減損損失	—	35,951
投資有価証券評価損	—	3,510
特別損失合計	—	63,561
税金等調整前四半期純利益	519,195	568,297
法人税等	184,249	193,145
四半期純利益	334,945	375,152
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△6,276	△1,751
親会社株主に帰属する四半期純利益	341,222	376,903

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	334,945	375,152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,308	11,019
為替換算調整勘定	7,417	△552
その他の包括利益合計	6,109	10,466
四半期包括利益	341,055	385,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	343,736	386,638
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,681	△1,019

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年9月1日 至 平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,766,382	1,279,245	3,045,627	—	3,045,627
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	76,201	76,201	△76,201	—
計	1,766,382	1,355,446	3,121,829	△76,201	3,045,627
セグメント利益	485,991	163,082	649,074	△228,182	420,891
その他の項目					
減価償却費	136,405	6,065	142,471	—	142,471
のれん償却額	8,551	77,125	85,676	—	85,676

(注) 1. セグメント利益の調整額△228,182千円は、報告セグメントの減価償却費△142,471千円及びのれん償却額△85,676千円が含まれております。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,702,418	1,108,227	3,810,646	—	3,810,646
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	113,086	113,086	△113,086	—
計	2,702,418	1,221,313	3,923,732	△113,086	3,810,646
セグメント利益	673,790	205,194	878,985	△247,743	631,241
その他の項目					
減価償却費	134,459	6,228	140,687	—	140,687
のれん償却額	29,930	77,125	107,055	—	107,055

(注) 1. セグメント利益の調整額△247,743千円は、報告セグメントの減価償却費△140,687千円及びのれん償却額△107,055千円が含まれております。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、原則として、事業用資産についてはセグメントを基準として、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

当第3四半期連結累計期間において、出前館事業の一部のソフトウェアについて当初想定していた収益を見込めなくなったことから、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(ソフトウェア35,951千円)として特別損失に計上しました。

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しております。

(のれんの金額の重要な変更)

「出前館事業」において、株式会社デリズのすべての株式を譲渡して連結の範囲から除外したことにより、のれんの金額が405,760千円減少しております。